

留学生センター沿革

	日本語・日本文化教育部門	教育交流部門／留学生相談室	短期留学部門／AC21推進室
1977	語学センターが非常勤講師による外国人留学生のための日本語教育を開始		
1978	専任講師着任, 「全学向け日本語講座」授業開始		
1979	語学センターと教養外国語系列が総合され, 総合言語センター発足 総合言語センターの1部門として「日本語学科」設置 「日本語研修コース」開講		
1981	「日本語・日本文化研修コース」開講		
1984	教養部在籍留学生対象一般教育外国語科目「日本語」開講		
1991	総合言語センターが言語文化部に改組。それに伴い一般教育外国語科目「日本語」は言語文化科目「日本語」として開講される		
1993. 4	学内共同教育研究施設として, 「留学生センター」設置 (「日本語・日本文化教育部門」・「指導相談部門」の2部門体制)		
	留学生センターとして, これまで通り「全学向け日本語講座」「日本語研修コース」「日本語・日本文化研修コース」言語文化科目「日本語」を開講		
1994. 4	留学生センター研修生規定が定められ, (1994. 2), 研修生の受け入れ開始		
5			「短期留学調査検討委員会」設置
1995. 3			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」設置
10			「短期留学受入れ実施に関する検討委員会」最終報告書の学内合意を得て, 「短期交流留学受入れ実施委員会」発足。「名古屋大学短期留学受入れプログラム (NUPACE)」の基本構成を構築
12			短期留学担当助手採用 (石川)
1996. 2			短期留学生受入れ開始
4	短期留学生対象日本語授業開始	独立した「留学生相談室」確保	「短期留学部門」発足 (留学生センター3部門体制となる)
8			短期留学担当教授着任 (野水)
10			「短期留学受入れプログラム (NUPACE)」本格稼働。短期留学担当助教授採用 (太田) 新スタッフ3名揃う
11		「指導相談部門」から「教育交流部門」へ名称変更	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	教育交流部門／ 名古屋大学留学生相談室	短期留学部門／ AC21推進室
1997. 5				「短期交流留学生受入れ実施委員会」から「短期交換留学生実施委員会」へ変更
10			留学インフォメーション室を留学生センター分室に開設	
1998. 1			「留学生パートナーシッププログラム」開始	
	インターネットによるWebCMJのオンライン開始			
12			「地球家族プログラム」開始	
1999. 4		「日本語教育メディア・システム開発部門」発足（留学生センター4部門体制となる）		
8		担当助教授着任（ハリソン）		
2000. 3				実務コーディネーター担当助教授転出（太田）
4		二人目の担当助教授着任（大野）		
6				担当助手採用（白戸）
2001. 3	留学生センター新棟完成			
4			「留学インフォメーション室」を「海外留学室」に改名	
12				担当助手退任（白戸）
2002. 4				担当助手採用（許斐）
8			留学生相談主事の所属を留学生センターに変更	
2003. 3	教授1名退任（藤原）			
4	講師1名採用（李）			担当助手配置換え（許斐）
5				担当助手採用（筆内）
2004. 1			「名古屋大学留学生相談室」新設、留学生相談主事が室長を兼任（松浦）	
2		助教授1名転任（ハリソン）		
3	助教授1名退任（神田）			
4		WebCMJ多言語版開発 オンライン読解・作文コース開始		
6			教授1名退任（三宅）	
7			教授1名昇任（松浦） 助教授1名採用（堀江）	
11		助教授1名採用（石崎）		
2005. 3		助教授1名転任（大野）		
4	日本語プログラムの再編成 1) 全学日本語プログラム（集中コース、標準コース、漢字コース、入門講義、オンライン日本語コース） 2) 特別日本語プログラム（初級日本語特別プログラム、上級日本語特別プログラム、学部留学生向け日本語授業、日韓理工系学部留学生プログラム）	教授1名日本語・日本文化教育部門から配置換え（村上） オンライン漢字コース開始		
5	留学生センターホームページ改訂			
6	講師1名採用（佐藤）			
9			「名古屋大学留学生相談室」講師1名着任（高木）	

	日本語・日本文化教育部門	日本語教育メディア・システム開発部門	教育交流部門／名古屋大学留学生相談室	短期留学部門／AC21推進室
2006. 3	教授 1 名転任（尾崎）		「名古屋大学留学生相談室」ホームページ公開	
4	助教授 1 名採用（衣川）	現代日本語コース中級聴解 CD-ROM 開発		
5	教授 1 名昇任（昶山）			
10		現代日本語コース中級聴解 Web 開発		NUPACE 設立10周年記念シンポジウム・同窓会開催
2007. 2		現代日本語コース中級聴解 Web 課金開始		
4				准教授 1 名配置換え（岩城）
6	准教授 1 名昇任（李）			
7				助教 1 名退任（筆内）
9				助教 1 名着任（山田）
2008. 3		JEMS オンライン日本語教育ポータルサイト開発		
2009. 2				助教 1 名転任（山田）
2009. 3			准教授 1 名転任（堀江）	

留学生センター在籍者数

年度	日本語・日本文化研修生（※）	日本語研修生		研究生	計
		前期	後期		
平成10年度	18	前期	33		
		後期	30		
平成11年度	20	前期	22		
		後期	37		
平成12年度	16	前期	36		
		後期	42		
平成13年度	20	前期	26		
		後期	50		
平成14年度	17	前期	26（8）	3	100（31）
		後期	54（23）		
平成15年度	20	前期	35（3）		
		後期	41（22）		
平成16年度	21	前期	34（11）		97（36）
		後期	42（25）		
平成17年度	21	前期	29	2	72
		後期	20		
平成18年度	19	前期	28	1	68
		後期	20		
平成19年度	18	前期	19		55
		後期	18		
平成20年度	20	前期	23	1	60
		後期	16		

※日本語・日本文化研修生については、5月現在の在籍者数を示す

※（ ）内は他部局に所属し日本語研修を受講した人数（内数）

短期交換留学生数

年度	人数
平成7年度	23
〃 8 〃	31
〃 9 〃	47
〃 10 〃	41
〃 11 〃	53
〃 12 〃	45
〃 13 〃	51
〃 14 〃	55
〃 15 〃	56
〃 16 〃	67
〃 17 〃	60
〃 18 〃	前期 53
	後期 58
〃 19 〃	前期 68
	後期 58
〃 20 〃	前期 67
	後期 64

平成20年度 留学生センター教職員

センター長
教授 石田 幸男

日本語・日本文化教育部門

教授 鹿島 央
教授 榎山 洋介
准教授 浮葉 正親
准教授 衣川 隆生
准教授 李 澤熊
講師 佐藤 弘毅

日本語メディアシステム開発部門

教授 村上 京子
准教授 石崎 俊子

教育交流部門

教授 松浦 まち子
(留学生相談主事/
名古屋大留学生相談室長)
准教授 田中 京子
准教授 堀江 未来
事務補佐員 柴垣 史
事務補佐員 鈴木 香津代

短期留学部門

教授 野水 勉
(AC21推進室長)

講師 石川 クラウディア
助教 山田 直子
事務補佐員 橋田 るみ

〈名古屋大学留学生相談室〉

講師 高木 ひとみ
事務補佐員 白石 慶子

〈名古屋大学国際学術コンソーシアム21 (AC21) 推進室〉

准教授 岩城 奈巳
事務補佐員 古賀 夕扇

歴代留学生センター長

初代	馬越 徹	1993年4月～1995年3月
第二代	石田 眞	1995年4月～1999年3月
第三代	塚越 規弘	1999年4月～2001年3月
第四代	末松 良一	2001年4月～2005年3月
第五代	江崎 光男	2005年4月～2007年3月
第六代	石田 幸男	2007年4月～現在

平成20年度 留学生センター各種委員会委員

全学委員会委員

(平成20年4月1日現在)

委員会名	委員	任期	期間
センター協議会	センター長		職指定
研究・国際交流委員会 (基幹第7)	センター長 野水勉		職指定 職指定 (AC21推進室長)
国際交流推進本部会議委員	センター長 野水勉 堀江未来		職指定 職指定 (AC21推進室長)
国際交流委員会	センター長 野水勉 舩山洋介 松浦まち子 堀江未来	2年 2年	職指定 職指定 (総長補佐) 平成20年4月1日～平成22年3月31日 (留学生センター) (留学生相談室) (オブザーバ)
セクシャル・ハラスメント 防止対策委員会	センター長		職指定
全学計画・評価担当者会議	鹿島央 松浦まち子		(留学生センター) (留学生相談室)
研究助成委員会	舩山洋介	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
交換留学実施委員会	センター長 松浦まち子 田中京子 堀江未来 野水勉 石川クラウドディア 山田直子 衣川隆生		職指定 (委員長) (教育交流部門) 〃 〃 (短期留学部門) 〃 〃 (その他) 平成19年4月～
留学生教育交流実施委員会	松浦まち子 高木ひとみ 田中京子 堀江未来 野水勉 石川クラウドディア 山田直子		職指定 (留学生相談室長) (委員長) 留学生相談室 (教育交流部門) 〃 (短期留学部門) 〃 〃
国際関係施設委員会	松浦まち子	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
全学教育企画委員会	村上京子	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
教養教育院統括部 言語文化科目部会	村上京子	1年	平成20年4月1日～平成21年3月31日
附属図書館商議委員会 (オブザーバー)	浮葉正親	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
総合保健体育科学センター 運営委員会	松浦まち子	2年	平成19年4月1日～平成21年3月31日
男女共同参画 推進専門委員会	田中京子	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
情報メディア教育センター 言語教育専門委員会	石崎俊子	2年	平成19年4月1日～平成21年3月31日

委 員 会 名	委 員	任期	期 間
名古屋大学スペース・コ ラボレーション・シス テム事業委員会 全学 教育棟子局運営委員会	佐藤 弘毅	1年	平成20年4月1日～平成21年3月31日
N I C E 連 絡 会	石崎 俊子		平成17年4月1日～（任期なし）
国際学術コンソーシアム 推 進 室 会 議	野水 勉 堀江 未来 石崎 俊子 石川クラウドディア	2年	AC21推進室長 平成20年4月1日～平成22年3月31日 〃 平成18年11月1日～平成22年3月31日
災 害 対 策 室 会 議	田中 京子		任期なし
全学同窓会幹事会	堀江 未来		任期なし
一般廃棄物管理者	野水 勉		平成14年5月8日～
奨学金等採択均等 計 算 ル ー ル W G	野水 勉		国際交流委員会（年度更新）
国 際 交 流 委 員 会 英 語 表 記 W G	野水 勉 石川クラウドディア		（主査）
育 児 支 援 W G	田中 京子		
こすもす保育園 運 営 協 議 会	田中 京子	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日
キャンパスマス タ ー プ ラ ン W G	野水 勉		平成18年4月1日～
セクシュアル・ハラスメント 防 止 対 策 担 当 （相談員）	高木 ひとみ	2年	平成20年4月1日～平成22年3月31日

センター内委員会委員

(平成20年4月1日現在)

委員会名	下位部会・WG	メンバー
総務委員会	将来計画 WG	センター長・野水・鹿島・松浦・村上・国際課長
	執行部会（連絡会議）	センター長・各部門代表・事務
	特昇 WG	昀山・石川
財務・施設委員会	経理・整備 WG	鹿島・李・田中・石川
	PC 室管理運営 WG	衣川・野水・石崎・佐藤・田中・山田・鹿島・堀江・李
	安全・防災部会	田中・鹿島・山田・石崎
計画・評価委員会	自己評価 WG	鹿島・松浦・野水・浮葉・佐藤
	教育活動評価 WG	村上・石崎・野水・堀江・衣川
	研究評価 WG	昀山・田中・堀江・李
	年次計画・報告 WG	鹿島・野水・田中・昀山
広報委員会	広報部会	李・松浦・山田・浮葉・高木
	ホームページ部会	石崎・野水・石川・李・堀江・高木・国際課・全学技術支援センター
	紀要部会	石川・堀江・衣川
	日本語・日本文化論集編集部会	昀山・浮葉
教務委員会	日本語・JEMS 部会 (FD も含む)	部門メンバー
	教育交流部会	部門メンバー
	短期部会	部門メンバー
	地域連携部会	浮葉・松浦・衣川

平成20年度 授業担当および学位論文審査

I. 授業担当 (大学院・学部・NUPACE)

1. 大学院

国際言語文化研究科

- 鹿島 央：日本語音声学 a (前期1コマ 2単位)
日本語音声学 b (後期1コマ 2単位)
- 初山洋介：現代日本語学概論 a
(前期1コマ 2単位)
現代日本語学概論 b
(後期1コマ 2単位)
- 李 澤熊：日本語文法論 a (前期1コマ 2単位)
日本語文法論 b (後期1コマ 2単位)
- 村上京子：日本語教育評価論 a
(前期1コマ 2単位)
日本語教育評価論 b
(後期1コマ 2単位)
- 衣川隆生：日本語教育方法論概説 a
(前期1コマ 2単位)
日本語教育方法論概説 b
(後期1コマ 2単位)
- 石崎俊子：コンピューター支援日本語教育方法論
(通年1コマ 2単位)
- 田中京子：異文化コミュニケーション論 a
(前期1コマ 2単位)
異文化コミュニケーション論 b
(後期1コマ 2単位)
- 浮葉正親：日韓比較文化論 a (前期1コマ 2単位)
日韓比較文化論 b (後期1コマ 2単位)

文学研究科

- 初山洋介：理論言語学 (通年1コマ 4単位)

教育学研究科

- 堀江未来：比較教育学研究 (後期1コマ 2単位)

工学研究科

- 野水 勉：物質計測工学特論 I
(前期1コマ 2単位)

- 物質計測工学特論 II
(後期1コマ 2単位)
- 物質計測工学セミナー I
(前期2コマ 2単位)
- 物質計測工学セミナー II
(後期2コマ 2単位)

2. 学部

教養教育院

- 松浦まち子 (代表)・浮葉正親・高木ひとみ：
基礎セミナー
「多文化社会を生きる」(前期1コマ 2単位)
- 田中京子 (代表)・高木ひとみ・筆内美砂：
基礎セミナー
「世界の学生生活」(前期1コマ 2単位)
- 浮葉正親 (代表)・松浦まち子・田中京子・堀江未来・高木ひとみ：
全学教養科目
「留学生と日本—異文化を通しての日本理解」
(後期1コマ 2単位)
- 石川クラウディア：
開放科目
「社会法制論—日本におけるイミグレーション」
(前期1コマ 2単位)
- 堀江未来：
開放科目
「多文化環境における人間関係とコミュニケーション」(前期1コマ 2単位)
- 高木ひとみ：
開放科目
「多文化理解とコミュニケーション」
(後期1コマ 2単位)
- 村上京子：
全学基礎科目
「言語文化 I 日本語 1」(前期2コマ 3単位)
「言語文化 I 日本語 2」(後期2コマ 3単位)

浮葉正親：

全学基礎科目

「言語文化Ⅱ日本語1」(前期1コマ 2単位)

浮葉正親：

全学基礎科目

「言語文化Ⅱ日本語2」(後期1コマ 2単位)

堀江未来：

全学基礎科目

「言語文化Ⅱ英語セミナー」

(前期1コマ 2単位)

工学部

野水 勉：セラミック材料学(後期1コマ 2単位)

3. 名古屋大学短期交換留学プログラム (NUPACE)

野水 勉 (コーディネーター)：

現代日本社会 (前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

社会法制論—日本におけるイミグレーション

(前期1コマ 2単位)

石川クラウディア：

日本史入門 (後期1コマ 2単位)

堀江未来：

多文化環境における人間関係とコミュニケーション

ン」(前期1コマ 2単位)

高木ひとみ：

多文化理解とコミュニケーション

(後期1コマ 2単位)

Ⅱ. 学位 (博士) 論文審査

○初山洋介 (主査)

論文提出者：有蘭智美 (国際言語文化研究科)

提出論文：身体部位詞を構成要素に持つ日本語慣用表現の認知言語学的研究

○村上京子 (主査)

論文提出者：深川美帆 (国際言語文化研究科)

提出論文：日本語学習者の談話における接続表現に関する習得研究

○衣川隆生 (主査)

論文提出者：清ルミ (国際言語文化研究科)

提出論文：コミュニケーション能力育成の視座からみた既存日本語教材と教師の意識に関する実証的研究—いわゆる禁止表現を例として—

○衣川隆生 (主査)

論文提出者：徐孟鈴 (国際言語文化研究科)

提出論文：日台接触場面の台湾人上級日本語学習者の依頼会話に関する研究—日本人・台湾人両母語場面と比較して—

○衣川隆生 (主査)

論文提出者：跡部千絵美 (国際言語文化研究科)

提出論文：若者の友人宛パソコンメールにおける文体の混用

○村上京子 (副査)

論文提出者：ジャミラ・モハマド (Jamila MOHD) (国際言語文化研究科)

提出論文：マレー語母語話者の日本語話体習得に関する縦断的研究—初対面場面における事例研究—

○村上京子 (副査)

論文提出者：清ルミ (国際言語文化研究科)

提出論文：コミュニケーション能力育成の視座からみた既存日本語教材と教師の意識に関する実証的研究—いわゆる禁止表現を例として—

○村上京子 (副査)

論文提出者：徐孟鈴 (国際言語文化研究科)

提出論文：日台接触場面の台湾人上級日本語学習者の依頼会話に関する研究—日本人・台湾人両母語場面と比較して—

○村上京子 (副査)

論文提出者：跡部千絵美 (国際言語文化研究科)

提出論文：若者の友人宛パソコンメールにおける文体の混用

○鹿島 央 (副査)

論文提出者：徐孟鈴 (国際言語文化研究科)

提出論文：日台接触場面の台湾人上級日本語学習者の依頼会話に関する研究—日本人・台湾人両母語場面と比較して—

○鹿島 央 (副査)

論文提出者：跡部千絵美 (国際言語文化研究科)

提出論文：若者の友人宛パソコンメールにおける文体の混用

○李 澤熊 (副査)

論文提出者：陸心芬 (文学研究科)

提出論文：日本語の認識モダリティ形式の意味分析と韓国語の類似形式との対照研究

○李 澤熊 (副査)

論文提出者：白明学 (文学研究科)

提出論文：日本語と韓国語の受け身構文研究—比較・対照の観点から—

○李 澤熊 (副査)

論文提出者：有園智美 (国際言語文化研究科)

提出論文：身体部位詞を構成要素に持つ日本語慣用表現の認知言語学的研究

○石崎俊子 (副査)

論文提出者：深川美帆 (国際言語文化研究科)

提出論文：日本語学習者の談話における接続表現の習得研究

留学生センター主催研究会記録

(2008年4月～2009年3月)

- ◆日 時：2009年2月14日(土) 13：30～16：30
場 所：愛知県三の丸庁舎8F 大会議室
内 容：日本語ボランティアセミナー
「私が日本語ボランティアをするわけ」
パネリスト：鈴木智恵氏（会社員），伊木・デ・フレ
イタス・ロドリゴ氏（大学生），小川裕
美氏（公務員），橋村青樹氏（大学生）
コメンテーター：土井佳彦（とよた日本語学習支援シス
テム）
参 加 者：大学生，主婦，日本語ボランティア現
職者等，83名
共 催：(財)愛知県国際交流協会，(財)名古屋国際
センター，東海日本語ネットワーク